

人権課題を解決する力を育む ～「人権」は誰でも心で理解し、感じることのできるもの～

令和2年8月に法務省人権擁護局が「令和2年度版 人権の擁護」を発行しました。

冊子では、令和2年7月に公表された「令和2年版人権教育・啓発白書」に基づき、我が国でどのようなことが主な人権課題として取り上げられているのか等について説明しています。その説明の一部を下記に抜粋しました。また、中学校・社会科公民の教科書の関連するページを示しました。人権課題の内容や現状を理解し、人権教育における行動力を養う「ひびきあい活動」の取組や、関連する教科等の授業を充実させ、部落差別（同和問題）をはじめとする様々な人権課題を解決する力をはぐくむ教育を一層推進していくことが重要です。

※以下のQ & Aは「内閣府『人権擁護に関する世論調査』（平成29年10月調査）」、「＜中学校・社会科公民＞【教科書のページ】」は「『新しい社会 公民』東京書籍（令和3年度より使用）」によるもの

① 女性～DV・性犯罪・性暴力・ハラスメント～

今なお、「女だから…」などと言う人がいます。女性というだけで社会参加や就職の機会が奪われることはあってはなりません。また、女性をDV、性犯罪、性暴力、ハラスメント等から守ることが必要です。

Q：女性に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「職場において差別待遇を受けること」50.5%
：「セクシュアル・ハラスメント」42.9%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.52】
■男女平等を目指して「男女雇用機会均等法」
「男女共同参画社会基本法」「育児・介護休業法」
【P.66】「女子差別撤廃条約」

⑥ 部落差別（同和問題）

「あの人は同和地区出身だから…」。「部落出身だから…」などと言われて結婚を妨げられたり、差別発言、差別落書きがされたりするなどの事案が依然として存在しています。部落差別（同和問題）を解消することが必要です。

Q：同和問題に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「結婚問題で周囲の反対を受けること」40.1%
：「差別的な言動をされること」27.9%
：「身元調査をされること」27.6%
：「就職・職場で不利な扱いを受けること」23.5%
：「インターネットを利用して差別的な情報が掲載されること」18.7%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.50、51】
■部落差別の撤廃「同和对策審議会答申」
「部落差別解消推進法」

⑨ 刑を終えて出所した人

刑を終えて出所した人やその家族に対する差別等が発生しています。これらの人の社会復帰のためには、本人の強い更生意欲と併せて、周りの人々の理解と協力が必要です。

⑩ 犯罪被害者等

犯罪被害者やその家族は、直接的な被害のほかに、興味本位のうわさや心ない中傷により傷つけられたり、プライバシーが侵害されたりするなどの二次的な被害を受けることがあります。犯罪被害者とその家族の人権に配慮することが必要です。

② 子ども～いじめ・体罰・児童虐待・性被害～

いじめや体罰、児童虐待、児童ポルノ等の性被害など、子どもが被害者となる事案が後を絶ちません。子どもは一人の人間として最大限に尊重され、守られなければなりません。

平成25年6月の「いじめ防止対策推進法」の成立を受け策定された「いじめの防止等のための基本的な方針」（平成29年3月改定）に基づき、いじめの未然防止や早期発見・早期対応のための取組が進められています。

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.49】
■子どもの人権「子ども（児童）の権利条約」
「児童福祉法に定められた子どもの権利」

⑥ アイヌの人々

アイヌの人々に対する理解を深め、偏見や差別をなくすことが必要です。

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.51】
■アイヌ民族への差別の撤廃「アイヌ文化振興法」
「アイヌ民族支援法」「国立アイヌ民族博物館」
【P.67】「先住民族の権利に関する国連宣言」
【P.72、73】「先住民族としてのアイヌ民族」

⑪ インターネットによる人権侵害

インターネット上において、個人に対する誹謗中傷、名誉やプライバシーの侵害などの人権問題が起きています。インターネットを正しく使用し、人権侵害をなくすことが必要です。

Q：インターネットによる人権侵害に関し、どのような問題が起きていると思うか。
A：「他人を誹謗中傷する情報が掲載されること」62.9%
：「プライバシーに関する情報が掲載されること」53.4%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.65】
■インターネットと人権「プライバシーの権利と表現の自由について考えよう」「知的財産権」

⑫ 北朝鮮当局によって拉致された被害者等

北朝鮮当局による日本人拉致は、我が国に対する主権侵害であるとともに、重大な人権侵害です。平成18年6月「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害問題への対処に関する法律」が施行されました。

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.205】
■「日本人が北朝鮮に拉致された問題」

「人権」は難しいものではなく、誰でも心で理解し、感じることのできるものです。しかし、現実の社会では、いじめや虐待等によって子どもの命が奪われたり、インターネット上に個人の名誉やプライバシーを侵害したり、差別を助長するような書き込みがされたりすることがあります。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、感染者、医療関係者やこれらの方々の家族などに対する「コロナ差別」、「コロナいじめ」と呼ばれる様々な人権問題が発生しています。障害があることを理由とする偏見や差別、ハンセン病患者・元患者やその家族に対する偏見や差別、いわゆるヘイトスピーチを含む外国人に対する差別、部落差別（同和問題）なども依然として存在しています。いずれも悲しく痛ましい人権問題です。どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。どうすればこのようなことをなくせるのでしょうか。（『令和2年度版 人権の擁護』はじめに）から）

【教科書のページ】は「『新しい社会 公民』東京書籍（令和3年度より使用）」によるもの

③ 高齢者

介護の際に虐待を受けた、無断で財産を処分されたなどの事案が発生しています。豊かな知識と経験を基にこれからも社会に貢献したい、地域の人たちと交流し、趣味を楽しみたい…。高齢者が生き生きと暮らせる社会の実現を目指して、高齢者についての理解を深め、高齢者を大切にすることを育てることが必要です。

Q：高齢者に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「悪徳商法、特殊詐欺の被害が多いこと」55.0%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.13】
■少子高齢社会の課題「高齢者支援」
【P.167】「老人福祉法：社会保障を支える人々」

⑦ 外国人

文化等の多様性を認め、外国人の生活習慣等を理解・尊重し、偏見や差別をなくすことが必要です。

Q：日本に居住している外国人に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「風習や習慣等の違いが受け入れられないこと」41.3%
：「就職・職場で不利な扱いを受けること」30.9%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.22、23】
■多文化共生を目指して「多文化共生のまちづくり」
【P.51】「在日韓国・朝鮮人への差別の撤廃」
「ヘイトスピーチ解消法」
【P.53】「在日外国人への理解」
【P.66】「人種差別撤廃条約」

⑮ ホームレス

ホームレスとなった人々に対して、嫌がらせや暴行を加える事案が発生しています。ホームレスの人権に配慮するとともに、地域社会の理解と協力が必要です。

⑮ 人身取引（性的サービスや労働の強要等）

人身取引（性的サービスや労働の強要等）は重大な人権侵害であり、人道的な観点からも迅速・的確な対応が求められています。

⑯ 東日本大震災に起因する人権問題

被災者に対する嫌がらせやいじめ、福島第一原発事故に伴う風評に基づく偏見、差別が今なお存在しています。
Q：東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、被災者にどのような人権問題が起きていると思うか。
A：「避難生活の長期化によるストレスに伴ういざこざや虐待」61.4%
：「学校、幼稚園等で嫌がらせやいじめを受けること」58.9%

④ 障害のある人

障害のある人が車椅子での乗車を拒否されたり、アパートの入居を断られる事案が発生しています。障害のある人に対する十分な理解と配慮が必要です。

Q：障害者に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「就職・職場で不利な扱いを受けること」49.9%
A：「差別的な言動をされること」48.7%
A：「じろじろ見られたり、避けられたりすること」47.6%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.53】
■障がいのある人への理解「障害者基本法」「障害者差別解消法」「インクルージョンについて考えよう」
【P.66】「障害者権利条約」
【P.74】「障がいのある人の働く機会の保障」

⑧ HIV感染者・ハンセン病患者・元患者等

～HIV・肝炎・新型コロナウイルス感染症～
エイズ、肝炎、新型コロナウイルス感染症等、感染症に対する知識や理解の不足から、日常生活、職場、医療現場など社会生活の様々な場面で差別やプライバシー侵害などの人権問題が発生しています。ハンセン病は、かつて我が国で採られた施設入所政策により、ハンセン病は恐ろしいというイメージが助長され、ハンセン病患者・元患者やその家族は、社会からのいわれのない差別や偏見の対象となってきました。感染症についての正しい知識を持ち、この問題についての関心と理解を深めていくことが必要です。

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.49】
■「ハンセン病と人権」「ハンセン病補償法」
「ハンセン病問題解決促進法（ハンセン病問題基本法）」

⑭ 性的指向・性自認

性的指向や性自認を理由とする偏見や差別により、苦しんでいる人々がいます。性的指向や性自認に関する正しい理解を深めていくことが必要です。

Q：性的指向に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「差別的な言動をされること」49.0%
：「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」35.0%
Q：性同一性障害者に関し、どのような人権問題が起きていると思うか。
A：「差別的な言動をされること」49.8%
：「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」45.7%

＜中学校・社会科公民＞【教科書P.52、53】
■性の多様性への理解：「同性パートナーシップ証明書」
【P.74】「性の多様性の尊重のために」

※「令和2年度版 人権の擁護」からの抜粋について、法務省人権擁護局により許諾済